会　議　録

会議の名称	第１回ときがわ町総合振興計画審議会
開 催 日 時	令和８年６月２６日（金）　１０：００～１１：３０
開 催 場 所	就業改善センター　３階　集会室
出席者氏名	畑豊　　（議会議員） 小島利枝　（議会議員） 田中紀吉　（議会議員） 野原和夫　（議会議員） 山下洋子　（社会教育委員） 杉田文男　（農業委員会長） 坂下芳昭　（区長会長） 岡野政彦　（商工会） 岡本育三　（前ときがわ町総合振興計画審議会副会長） 谷野裕子　（子ども・子育て会議会長）☆副会長 内田真男　（都幾川郵便局） 武野谷博之（元ときがわ町監査委員行政経験者）★会長 山口富士生（公募） 山口泰三　（公募） 前田榮　　（町長） 大山澄男　（副町長）
欠席者	岡野和義　（教育委員） 山﨑俊樹　（社会福祉協議会）
事務局	大野健司（政策財政課　課長） 荻野　実（政策財政課　主幹） 杉内瑠希（政策財政課　主任）
ジャパン総研	東京支社　主任研究員　國分　俊憲 東京支社　研究員　　山名　瞳太

議　　題	１．開会 ２．あいさつ ３．委嘱状交付 ４．自己紹介 ５．会長・副会長の選出 ６．諮問 ７．議事 （１）第三次ときがわ町総合振興計画の策定について （２）第二次ときがわ町総合振興計画後期基本計画の現況について ８．その他 ９．閉会

（会議の経過）

発 言 者	発言内容・決定事項等
事　務　局	１．開会 皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、令和８年度第１回ときがわ町総合振興計画審議会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。それではただいまから、総合振興計画審議会を開会します。本日の進行を務めます政策財政課の荻野と申します。よろしくお願いします。 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。「２．あいさつ」になりますが、前田榮町長よりごあいさつを申し上げます。
前 田 町 長	２．あいさつ 皆さん、こんにちは。大変お忙しいところ、第１回目の審議会に集まっていただきまして、ありがとうございます。ときがわ町ができて 21 年目になりますが、今回の審議会においても、将来の町の分岐点になると思いますので、５年区切りの 10 年間の計画を皆さんにご審議いただきたいと思います。私も２月 26 日に町長にならせていただきました。ときがわ町には課題がたくさんあります。本庁舎と第二庁舎が 20 年経ちますので、そろそろ対応を考えないといけません。ほかにも学童のことなど、様々な問題があります。私の選挙での公約が「全世代の皆様が幸せを感じる」なので、公共福祉の増進をして幸せ度を考えながら、計画を練っていただきたいです。「ワクワクするまち　ときがわ」ということで、皆様がときがわ町に住んで良かった、これからもときがわに住んでいきたい、自分もときがわに行きたいと思っていただけるような総合計画にしていただきたいと思います。私も 20 年間、議員やらせていただき、はじめは、このような分厚い総合振興計画はどうかと思っていましたが、４年前のコロナ禍のときに、ときがわ町の将来像を抽象的でも入れておかないと国と県からも補助金がもらえないことを知りました。そのようなことがあるので、策定支援を業者に委託しています。皆さんの忌憚のないご意見をいただき、ときがわ町の将来のために総合振興計画を策定できればと思いますのでよろしくお願いします。
事　務　局	３．委嘱状交付 ありがとうございました。続いて「３、委嘱状の交付」ですが、今回の計画が総合振興計画と総合戦略を包含させた形での計画策定になるため、総合戦略の委員も併せて委嘱させていただきます。本来であれば、皆様に総合振興計画審議会及び総合戦略の委員の委嘱状を交付させていただくところですが、時間の関係もあり、総合振興計画審議会を代表受領とさせていただき、総合戦略の委員の委嘱につきましては、委嘱状を机上に配付する形とさせていただきましたので、後ほどご確認いただければと思います。 それでは、代表受領ですが、山口富士生委員にお願いしたいと思います。 前田町長、山口富士生委員、前にお願いします。

（会議の経過）

前田町長	委嘱状。山口富士生様、ときがわ町総合振興計画審議会委員に委嘱します。但し、非常勤とします。 任期、令和８年６月 26 日から諮問に関わる審議が終了するまで。 令和８年６月 26 日、ときがわ町町長　前田榮 よろしくお願いします。
事務局	４．自己紹介 続いて「４．自己紹介」ですが、こちらも時間の都合上、配布した名簿で代えさせていただきます。
事務局	５．会長・副会長の選出 続いて、「５．会長・副会長の選出」です。条例の規定により、会長・副会長は互選により定めるとされています。ご推薦があれば、お願いします。
田中委員	武野谷委員がいいと思います。
事務局	ほかにどなたかいませんか。
武野谷委員	どなたかほかにいらっしゃらないでしょうか。
委員一同	異議なし。
事務局	ありがとうございます。それでは、賛成の声をいただきましたので、会長に武野谷委員をお願いします。続いて、副会長のご推薦はありますか。
委員一同	事務局案でお願いします。
事務局	それでは、事務局案として、谷野委員にお願いしたいと思います。
委員一同	異議なし
事務局	それでは、会長に武野谷委員、副会長に谷野委員でさせていただければと思います。会長、副会長は席の移動をお願いします。 それでは、会長、副会長からごあいさつをお願いします。
武野谷会長	あらためまして、こんにちは。突然のご指名で驚きました。 以前、私はときがわ町で外部監査委員を務めており、ときがわ町の事務全般について、３年間目を通してきました。その中で、先ほど町長がおっしゃられた課題の指摘もしてきました。これから、総合振興計画の審議会の会長を務めさせていただきますが、納得できる結果を出せればいいなと思っています。皆さん、ご協力よろしく

（会議の経過）

	お願いします。
谷野副会長	皆さん、おはようございます。副会長に任命されて、私で務まるのか心配ですが、会長を補佐していきたいと思います。よろしくお願いします。
事　務　局	ありがとうございました。それでは「６．諮問」に移りますが、大山副町長が時間の都合で退席をされますので、ここでごあいさつをお願いしたいと思います。
大山副町長	ときがわ町副町長の大山です。公務の都合で中座させていただきますので、一言ごあいさつさせていただきます。 このたび、総合振興計画審議会に、皆様、お集まりいただき、誠にありがとうございます。総合振興計画は、ご存じのように、町の最上位計画となり、そしてときがわ町の今後 10 年間の方向性を決める非常に重要な計画になります。 今回、令和９年度からの 10 年間ということで、前田町長の町政が始まるいいタイミングでこの計画がつくることができます。ときがわ町の将来、発展のある計画を目指して十分な審議をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。 ６．諮問
事　務　局	それでは「６．諮問」となります。町長より、本審議会に対して、諮問書を提出させていただきます。よろしくお願いします。 前田町長、武野谷会長、前へお願いします。
前田町長	諮問書読み上げ。
事　務　局	ありがとうございました。 諮問を受けて、会長より一言お願いします。
武野谷会長	ただいま、前田町長より第三次ときがわ町総合振興計画についての諮問書をお預かりしました。町長の期待に応えられるような計画（案）を作成ができればと思いますので、皆さんのご協力お願い申し上げます。
事　務　局	ありがとうございました。それでは、「７．議事」に入らせていただきます。議事につきましては、武野谷会長に進行をお願いしたいと思います。
武野谷会長	それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。まずは「（１）第三次ときがわ町総合振興計画の策定について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

（会議の経過）

	７．議事 （１）第三次ときがわ町総合振興計画の策定について
ジャパン総研	（資料３「第三次ときがわ町総合振興計画策定方針」について説明）
武野谷会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いします。
田中委員	旧玉川村のときから委員をしてきたので、かなりこだわってきており、気になる点がいくつかありました。 １点目は、住民アンケートは非常に良かったと思うが、行政区の区長アンケートもおこなっており、内容が非常に良かったので、委員の皆さんにお配りして、ご審議をいただきたいです。 ２点目は、前から言っていますが、毎回 100 ページを超えるので、コンパクトにまとめていただきたいです。 ３点目は、事務局からは説明がありませんでしたが、ときがわ町は全域が過疎地域の指定を受けているので、その点は計画で触れていただきたいです。 ４点目は、第一次から「人と自然の優しさにふれるまち　ときがわ」を将来像として進めてきましたが、それを今回から「全世代が幸せを感じる　ワクワクするまちときがわ」に変わっています。審議会で論議をせずに変えたことに違和感があります。
事　務　局	１点目について、住民アンケートはすでに計画に盛り込んで有効活用する予定です。区長アンケートについては、２年前に実施したものでしたので、準備をしていませんでしたが、委員の皆様に配布して、活用できる意見については反映させていきたいと思います。 ２点目について、計画のボリュームがかなり増えてきていることは、こちらも把握しています。ほかの自治体の総合振興計画を見ても、どこもボリュームが増えている傾向にはあります。ただ増えているのではなく、盛り込むべき内容が増えているためなので、内容を精査しながらできるだけ分かりやすく作成することを心掛けたいと思っています。
武野谷会長	今までの総合振興計画で概要版の作成はしてきたのですか。
事　務　局	現行の計画ではＡ３の見開きで、概要版の作成をおこなっています。
前田町長	内容が厚くなっても、計画に入れておかないと国や県の補助金がもらえなくなります。
事　務　局	今、お話があったように、特に国の補助に関しては、この総合振興計画のどこに実施する事業が記載されているかを根拠にされますので、できるだけ、広く拾える形で記載していく必要があると思います。それに関しては、作成の中でうまくまとめ

（会議の経過）

	ていきたいです。
事　務　局	おそらく、田中委員が言われたのは、ページ数を減らすということよりも、分かりやすさを言われているのだと思います。住民の方々がこの計画書を読んで、分かりやすいものにするということを心掛けないといけないと思っていますので、審議会の皆様が見ていただく中で、ご指摘をいただきたいです。 ３点目の過疎地域についても、これから計画をつくっていく上で、過疎地域に指定された中でどのような人口構造に持っていきたいのか、また過疎地域に指定されていることによるメリットなどを、盛り込んでいこうと考えていますので、またご意見をいただければと思います。 また４点目の将来像についても、これで決定というわけではなく、まずは審議会にかける第１弾としてお示しさせていただきましたので、こちらに関しても皆様と審議をしながら、最終的な将来像を決めていきたいと考えています。
田 中 委 員	ほかの過疎地域の計画書を見れば、過疎地域についてかなり触れているので、あのような表現の仕方をすれば、十分に補助金の対応も可能と思います。
武野谷会長	先ほどの田中委員からありました４点については、ある程度、事務局の回答で、皆さん、納得できたと思います。 最後の将来像の件については、審議の対象であると説明がありましたが、それについて、ご意見はありますか。例えば、付け足したほうがいいもの、修正したほうがいい点などがあれば、出していただきたいです。
岡 本 委 員	４ページに「視点④　実行力を備えた計画づくり」とありますが、こういう計画をつくること自体は簡単に作れます。ただ実施するのが大変なので、きちんとできる仕組みづくりをすることが大切だと思います。ＰＤＣＡサイクルの導入など、各段階でチェックできるシステムを、今度はご提案していただけるとありがたいです。
前 田 町 長	この将来像は、私の公約にも書いてあることになります。なぜこのような内容にしたかというと、公共福祉の増進が一番の命題と考えており、幸福度を上げることが必要と考えているからです。この「全世代が幸せを感じる　ワクワクするまち　ときがわ」が、私の町長としての一番の目標ですので、ご理解いただきたいです。
野 原 委 員	将来像の「全世代が幸せを感じる」は、言葉として素晴らしいと思いますが、それがつくった計画の中で感じられるかが重要だと思います。先ほど、計画に盛り込むことで国や県の予算を得るという話でしたが、ときがわ町が実行できる範囲での計画でないと大変なことになるかもしれません。「幸せを感じる」については、住民アンケートや区長アンケートでも結果が出ていると思います。いい計画をつくっても、ただの計画だったと言われないようにしないといけません。

（会議の経過）

岡 本 委 員	途中でチェックを入れていき、きちんと実行されているかを審議会でも見ていきませんか。
武野谷会長	野原委員が心配されているのは、住民に対して実感できる計画かということだと思いますが、この審議会は「全世代が幸せを感じる　ワクワクするまち　ときがわ」に向かっていく計画をつくる場なので、住民に対して実感できるかについては、その計画をどのように遂行していくかの問題だと思います。ご指摘は重要な内容だと思いますが、計画を作成する前に、先を懸念するのもいかがなものかと思います。
野 原 委 員	基本をつくっておかないと響きません。住民サービスをするにはお金がかかります。そのお金のやりとりも含めた計画にしていかないといけないと思います。
武野谷会長	この「全世代が幸せを感じる」という目標自体は間違っていないと思いますが、いかがでしょうか。
山口(富)委員	初めての経験なので、場違いかもしれませんが、目標や将来像は大きく掲げて、全体を高揚させる中で、どこに重点を置いて、施策をしていくのかだと思うので、構想としてはこれでいいと思います。重点を置いた施策が、きちんと実行されているかを、ＰＤＣＡサイクルなどを使うことで、住民の理解を得ながら、仕上げていくという形がいいと思います。
山口(泰)委員	自分でも今までここに住みながら、いろいろなところで働いてきました。そのときの年代によって考えも変わってきましたが、ここに「全世代」とありますので、「全世代が幸せを感じる」という方向に進んでいければいいと思います。
谷野副会長	いろいろな委員会に参加しているが、絵に描いた餅にならないような計画にしないといけないと思います。いい計画を立てても、横のつながりがないとうまくいきません。総合計画なので、そこをうまくつなげて具現化して計画を立てていくことが必要だと思います。
武野谷会長	この将来像、「全世代が幸せを感じる　ワクワクするまち　ときがわ」は、町長の公約でもありますが、自分は素晴らしいフレーズだと思っています。ただ、あえて言うなら、この将来像は、日本のどこに持っていっても通用するものなので、個性がないとも言えます。住民アンケートでもっとも意見が多い重要なものは、ときがわ町が「豊かな自然」に囲まれていることとなっており、それがときがわ町の一番の強みであることを示しているので、個人的な意見としては、その視点が将来像に取り込まれてもいいのではないかと思っています。
杉 田 委 員	農業関連で言うと、ときがわ町は 520 ヘクタールくらい農地面積がありますが、高齢化により、年間３ヘクタールが山林化されてしまっています。もしかしたら、議

（会議の経過）

	会でも同じような意見が出ているかもしれませんが、今後、遊休農地をどう活用するか考えたときに、農地ではなく宅地化にして、人口増を図ったほうがいいのではないかと思います。農業委員会も昔は農地を守るものでしたが、今は農地を維持できなければ転用を考えないといけないと思っています。これから、町の所有している土地で計画が動いていくと思いますが、そのようなことをしていったほうがいいと思います。
内田委員	初めての審議会に参加していますので、どのような感じかと思って参加しています。策定の方針、スケジュール、将来像はこれでいいと思っていますが、町民がときがわ町に住んで良かったと思ってもらう、ときがわ町に住んでいることをプライドに思ってもらうというものがないと、同じような話になってしまいます。先ほど、人口をただ単に増やすわけではないと言われていましたが、自分も同感です。今、住んでいる方がどう思っているかが大事で、自分もずっと住んでいますが、自然があるのが当たり前なので、自然を強調してもあまりピンときません。この総合振興計画の中に、町民にとって、何かしらの矜持や、ときがわ町に住んでて良かったと思えるものであればそれでいいと思います。予算の確保のためという側面もあるので、全体論と各論は別に考えていけばいいと思います。全世代の町民がときがわ町というものを意識してまちづくりをしていくためのきっかけになる計画になればと思います。
山口(富)委員	４ページの「６．計画策定の視点」に「視点③　近年の社会潮流を踏まえた計画づくり」とありますが、今はＡＩなどによって、社会や人間の生活のあり方を大きく変わる変革の時期だと思うので、10年後の社会がどのようなものになっているのかということを念頭に置いて、計画をつくっていただければと思います。
畑　委　員	皆さんの意見を聞いていますと、２ページに書いてある「２．計画策定の趣旨」にすべて書いていることを言われているので、いろいろ言うのではなく、とりあえず進めていってはいかがでしょうか。将来像や計画策定の趣旨に時間を費やしているので、もう少し前に進めていったほうがいいと思います。
武野谷会長	確かに畑委員の言われるように、「２．計画策定の趣旨」に集約されていると思いますので、それを踏まえて、ご意見はありますか。
野原委員	将来像の「全世代が幸せを感じる」はいい言葉だと思いますが、どうしても「ワクワクする」という言葉が入っているのが引っかかります。「全世代が幸せを感じるまちづくり　ときがわ」でもいいのではないでしょうか。
事　務　局	将来像については、決定というよりはご意見をうかがってから最終的なものを決める形になります。今、皆さんからいただいたご意見を踏まえながら、検討したいと思います。もし、委員の皆様からも将来像の案があれば、後日でも事務局までお願い

（会議の経過）

	します。
武野谷会長	ここは一番重要なところなので、事務局にはお手数をおかけしますが、皆さんからご意見を少し取り入れて、検討していただければと思います。
田中委員	ときがわ町は統計的に見ると女性が減っているので、女性の視点にも注力してほしいです。将来の人口を考えるときに重要になります。
武野谷会長	事務局には、いただいたご意見で、取り入れられるものは取り入れて、素案にまとめてもらいたいと思います。 それでは、「（２）第二次ときがわ町総合振興計画後期基本計画の現況について」、事務局より説明をお願いします。
ジャパン総研	（２）第二次ときがわ町総合振興計画後期基本計画の現況について （資料４「第三次ときがわ町総合振興計画策定にあたる現状のまとめ」について説明）
武野谷会長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等あれば、お願いします。
岡本委員	玉川中学校の運営委員長を何年間かやって、強く感じたのが、部活動が生徒数の減少で十分にできていないということと、近隣の市町村の動きを見ても中学校の統合は避けて通れないので、早く手をつけるべきだということです。審議会の委員は町のあるべき姿を議論しているので、審議会として、項目を取り入れるべきだと思います。ただ統合するのではなく、統合されても安心して登校できるように、生徒の目線に立って統合すべきだと思います。
野原委員	文教厚生常任委員会の中で、学校のありかたについて、住民アンケートを実施しましたが、すでに 30 件の回答が届いているそうです。今後のあり方については、統合も含めて、議題になっていくと思います。
山口(泰)委員	★印については、目標指標との比較をされていますが、目標値と差があるものが多く見られるので、達成率は低いと思われます。達成していなくとも、目標に近づいていっているものだったらいいですが、差が広がっていっているものに関しては、十分に検討検証が必要な項目だと思います。
武野谷会長	仰る点は重要なポイントですので、事務局はその点をよく踏まえて、進めていっていただきたいです。ほかにご意見あるか。 ３ページに「◎遊休農地の宅地等の転用など」という文言がありますが、私の知る限り、農地法の縛りは非常に厳しく、簡単に転用はしにくいと思います。農地法をど

（会議の経過）

	のようにかいくぐって、転用しようと考えているのでしょうか。
前田町長	ここでは遊休農地とだけ書かれていますが、これは適用除外の部分になります。１、２カ所候補があるので書かせていただきました。やはり農業法的に厳しいでしょうか。
杉田委員	確かに農地法は厳しいです。ただ、完全に遊休農地になっていて、農地にならない土地もあります。昔の農地法は農業を守る政策でしたが、今は農地をどうするかになっています。農業でも10年計画があり、高齢化、鳥獣被害などが問題になっている。やはり農地は制約があって転用が難しいです。完全に山林化してくれればいいのですが、ときがわ町には完全に山林化したところはありません。今後、これが議論になってくると思います。確かに農地法は厳しいですが、県もやむを得ないものは許可をしてくれており、いくらか緩和されている状況です。
武野谷会長	自分は可能性がないものをここに載せるのはどうかということを懸念していましたが、適用除外という制度を利用してとのことでしたので、了解いたしました。 ５ページの１つ目の◎に「行政改革やＤＸの導入による」について、ときがわ町はスマホでできるようになっているものが増えて、いろいろなシステムもかなり改善されていると思いますが、情報公開に関しては、まだいかがなものかと思っています。児童生徒数を確認するために、教育委員会の学校基本調査を見たら、最新が令和２年で止まっていました。住民基本台帳も現状は確認できても、類型的なものはありませんでした。基本的な将来人口やこどもの数などの情報公開については、もう少し積極的に取り組んでいただきたいです。今後の改善をお願いします。 では、以上をもって「７．議事」を終了しましたので、議事進行を下ろさせていただきます。ありがとうございました。
事務局	８．その他 武野谷会長、議事の進行、ありがとうございました。ここからは事務局で進行させていただきます。 「８．その他」について、何点か報告をさせていただきます。 １点目が、将来像のご意見については、２週間程度の間に事務局までお願いします。 ２点目、本日の報酬については、指定の口座のほうに振り込ませていただきますので、よろしくお願いします。 ３点目、次回の会議の予定は、10月ごろを予定しています。詳細については、追って通知させていただきますので、よろしくお願いします。 委員の皆様から何かありますか。
内田委員	会議の時間はおおむね２時間以内になりますか。

（会議の経過）

事　務　局	そうです。
内 田 委 員	終了時間がないので、スケジュールが組めません。
事　務　局	それもお示しするようにします。
	９．閉会
事　務　局	それでは、「９．閉会」となりますので、谷野副会長よりごあいさつをお願いします。
副　会　長	皆様方におかれましては、慎重審議、ご意見をいただきましてありがとうございました。これをもちまして、令和８年度第１回ときがわ町総合振興計画審議会を閉会といたします。ありがとうございました。 以上